



メーカー管理用です。

TOTO

マイクロ波センサー壁掛小便器セット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。

この説明書では商品を安全に正しく取り付けにいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---------------------------------------

警告	
	浴室などの湿気が多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障、感電・けがのおそれがあります。
	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には 取り付けない 取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡のおそれがあります。
	電源は交流100V以外は使用しない 交流200Vや直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。

警告	
	取り付け前には所定の下地を設ける 固定強度不足で施工すると、けがや壁の破損が生じるおそれがあります。
	危険防止のため、必ず過電流遮断器、漏電遮断器を設置する 使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル（φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mmのより線） 感電、漏電の原因になります。

注意	
	小便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず2人以上で施工を行う 腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。
	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。
	壁への固定が完了するまで、十分注意するまた、各部の固定がゆるんでいないことを確認する 倒れやすく、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

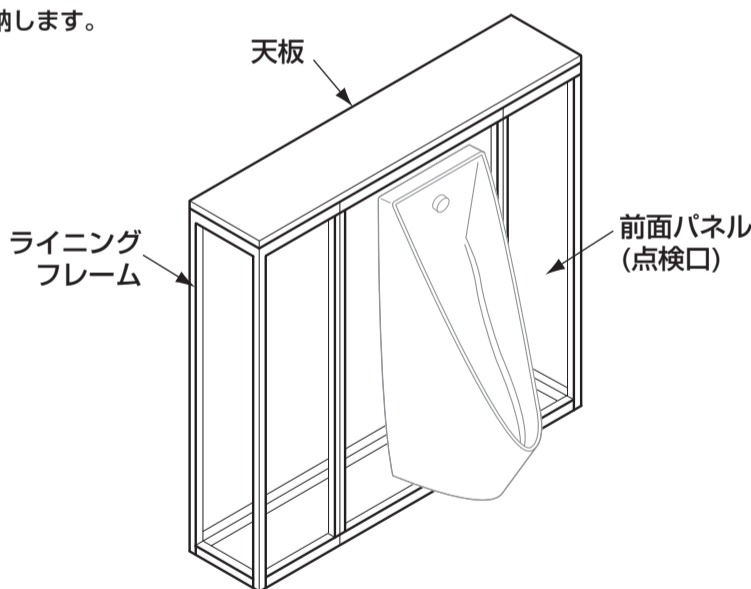
設計上のご注意

本小便器はセットコントローラーユニット・バルブユニットをライニング内に収納します。それらの施工、メンテナンスのために点検口を設ける必要があります。点検口付きのライニングを別途手配ください。

【別途手配が必要なもの】

- 点検口付きのライニング
 - ・ライニングフレーム
 - ・天板
 - ・前面パネル

※本商品専用のTOTO製の点検口付ライニングもご用意しています。

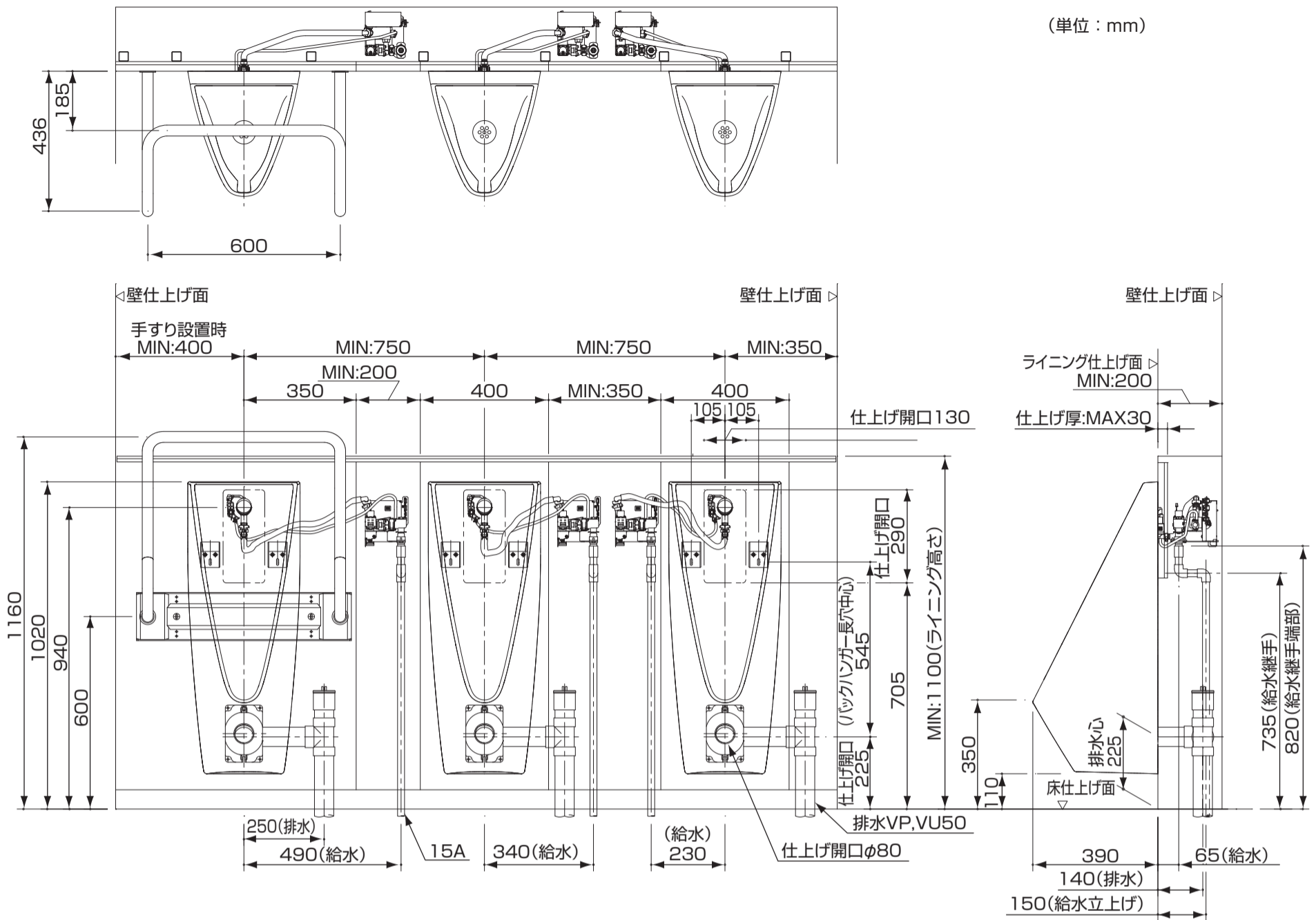


取り付け前のご注意

- ・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ・水道工事、電気工事、設備工事、建築工事は十分に工程を事前打ち合わせのうえ、行ってください。
- ・電源線は現場で用意してください。
- ・アース線は不要のため、2芯の電源線をご使用ください。
- ・給水圧力は最低必要水圧0.07MPa(8L/分 流動時)、最高水圧0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
- ・本小便器は電気器具のため、水をかけないように注意してください。
- ・出荷前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- ・強い照明や太陽光が入る環境では、ターゲットマーク点灯が見えにくくなる場合があります。


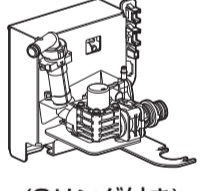










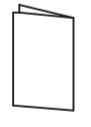
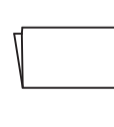




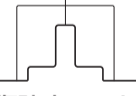

セット図

●標準設置寸法は、次のようになります。
完成イメージを把握していただき、施工時に必要な細部の寸法は、下図を元に正しく取り付けください。
※個別配管の場合

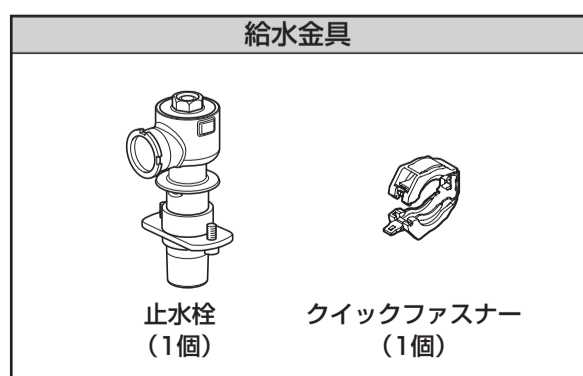


同梱部品

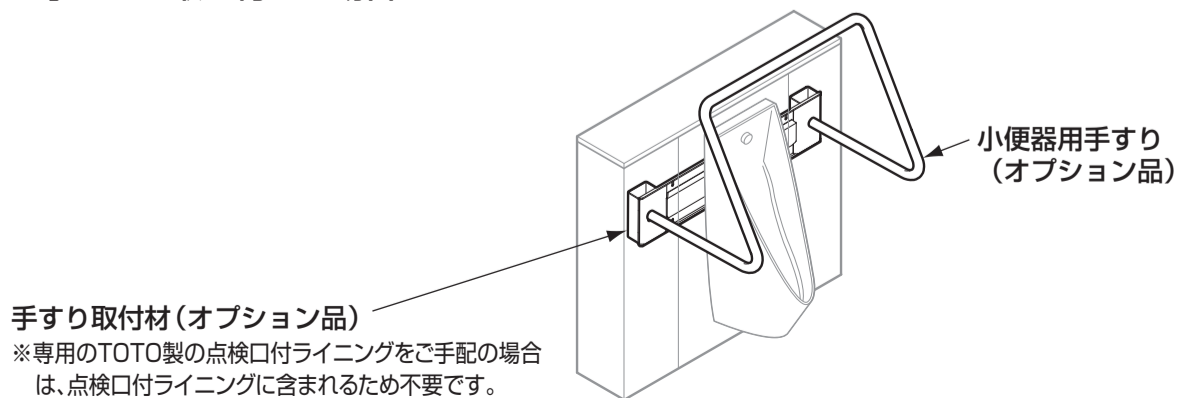
■部品があるか、下記を参照して確認してください。

小便器本体	コントローラーユニット・バルブユニット	バックハンガー			ビス保護キャップ	目皿
 (1個)	 (Oリング付き) (1個)	 バックハンガー本体 (2個)	 木ねじ (φ5.8×50：6本)	 ワッシャー (2個)	 (6個)	 (1個)
クランプ	排水フランジ				その他	
 大(1個) 小(1個)	 排水フランジ 本体 (1個)	 六角ボルト (1個)	 ナットM8 (2個)	 ワッシャー (小) (1枚)	 施工説明書 (1枚)	 取付説明書 (1枚)
	 タッピンねじ (4本)	 ワッシャー (大) (1枚) (小便器用)	 Pシール (1個)	 施工説明書 (1枚)	 傷防止シート (1枚)	 取扱説明書 (1枚)
					お客様に必ず お渡しください。	

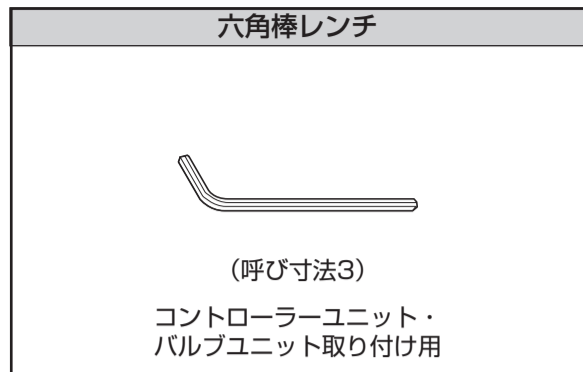
別梱品



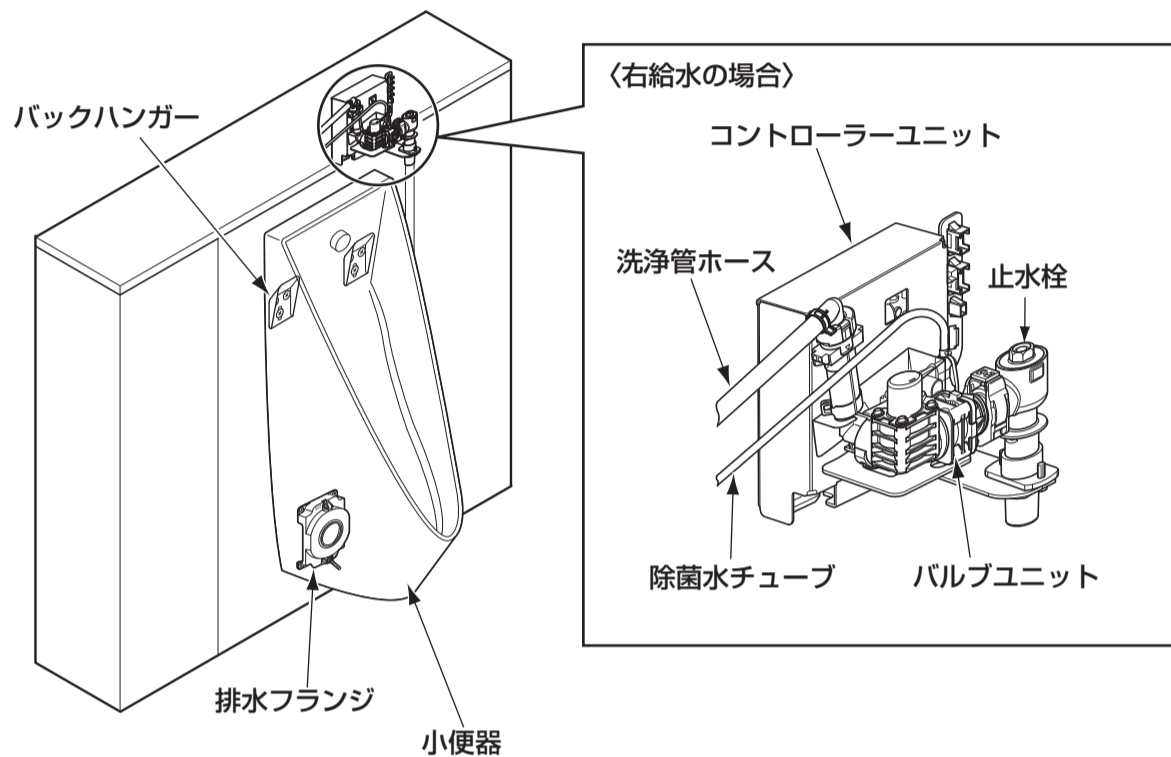
<手すりを取り付ける場合>



使用工具 (別途ご準備ください)

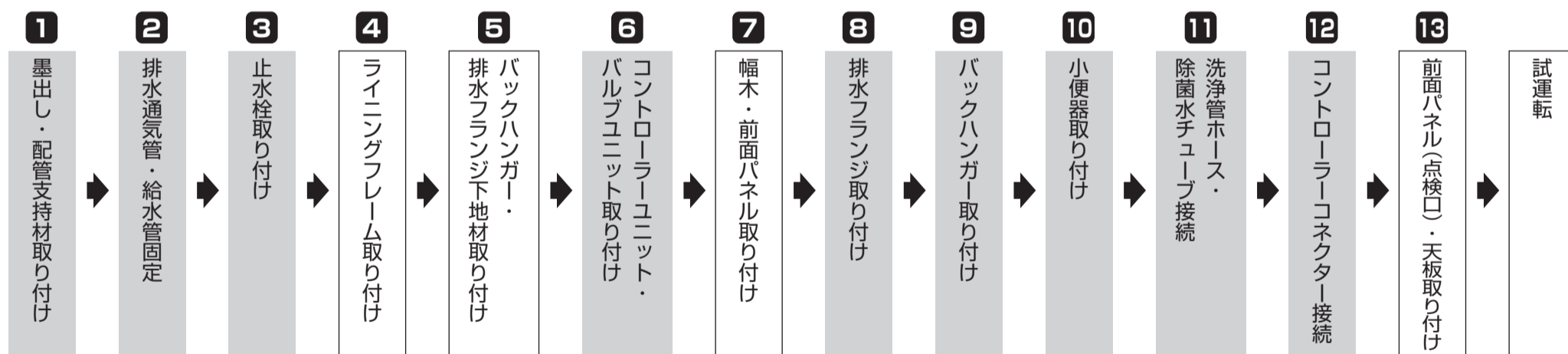


各部のなまえ



施工手順

TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、点検口付ライニングに同梱の施工説明書も参照ください。



黒文字 : 設備工事 黒文字 : 建築工事※

※TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、設備工事でも可能です。
また、この場合、手順5バックハンガー・排水フランジ下地材取り付けは不要です。

取付方法

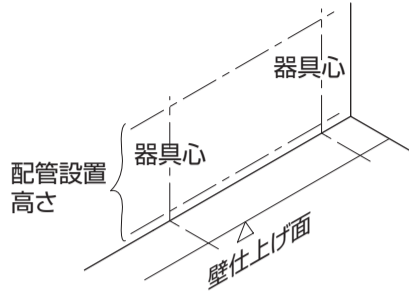
Point ・施工前に打ち合わせを実施し、工事区分の確認を行ってください。

黒文字 : 設備工事 黒文字 : 建築工事

1 墨出し・配管支持材取り付け

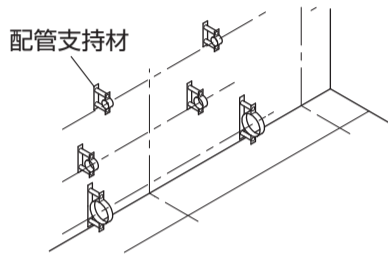
給排水管位置の墨出し

- ライニングの壁仕上げ面を基準に、位置決めをする。
※寸法はセット図を確認してください。



配管支持材の取り付け【現場手配】

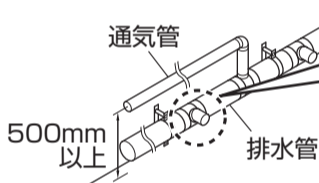
- 取り付ける下地面に適した配管支持材を選定し、ガタツキがないよう、確実に取り付ける。



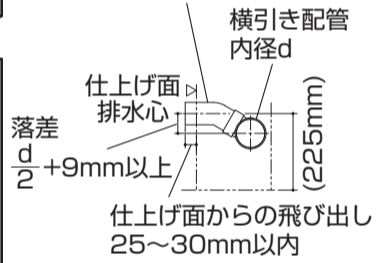
2 排水通気管・給水管固定

排水通気管の固定 〈床上の横引き配管の場合〉

- 通気管高さは床仕上げ面から500mm以上に設置する。
- 横引き排水管の勾配は、1/50以上確保する。

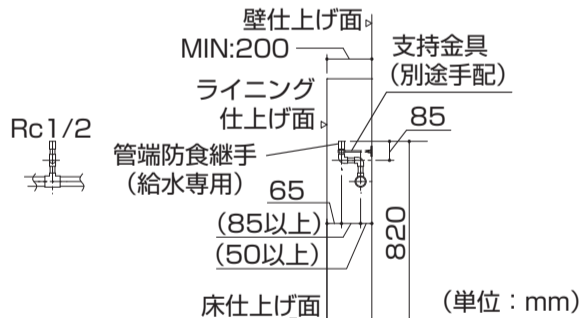
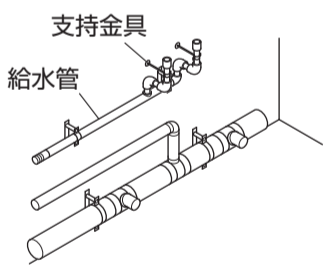


VPまたはVU50
落差に応じた接続部材
(UTR521、UTR522) を用意
しておりますので別途手配のうえ
ご利用ください。



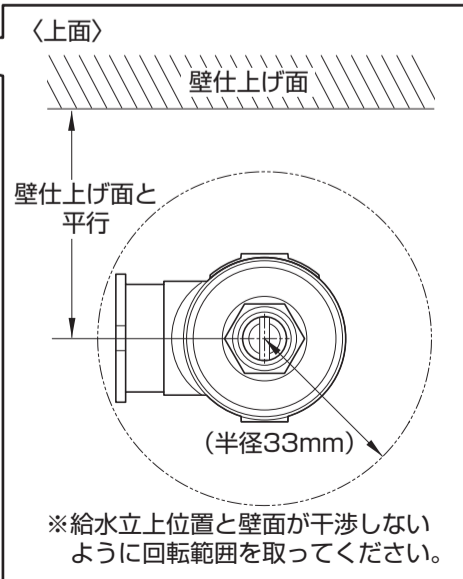
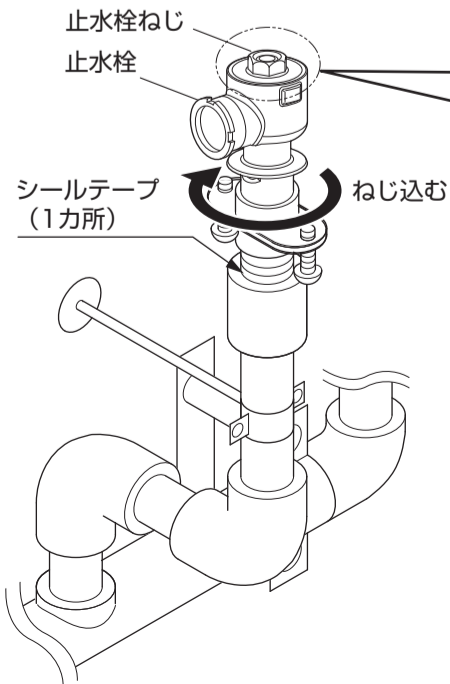
給水管の固定

- 各器具への給水取り出し口は、点検口裏にくるように位置決めする。
※寸法はセット図を確認してください。
- 給水取り出し口の根元は、ガタツかないように必ず支持金具で固定する。



3 止水栓取り付け

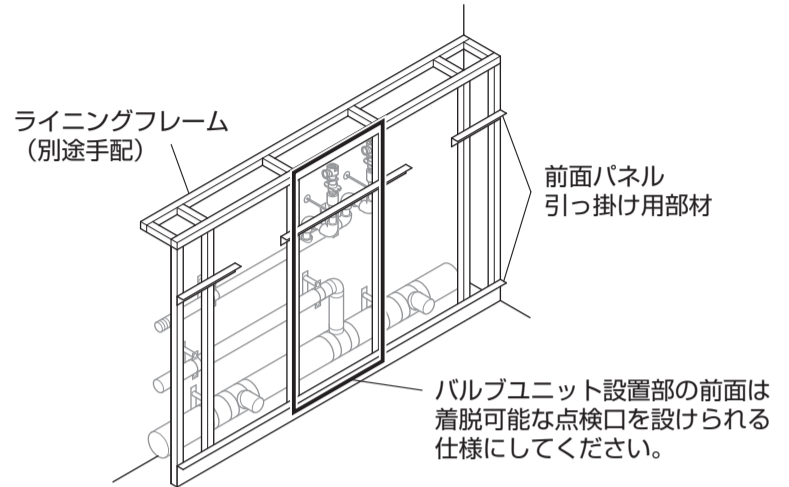
- 接続部にシールトテープを巻き、止水栓が壁仕上げ面と平行になるように取り付ける。



4 ライニングフレーム取り付け

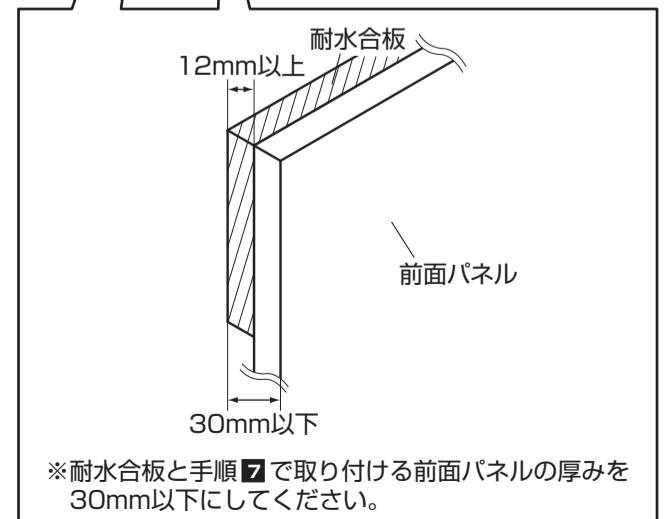
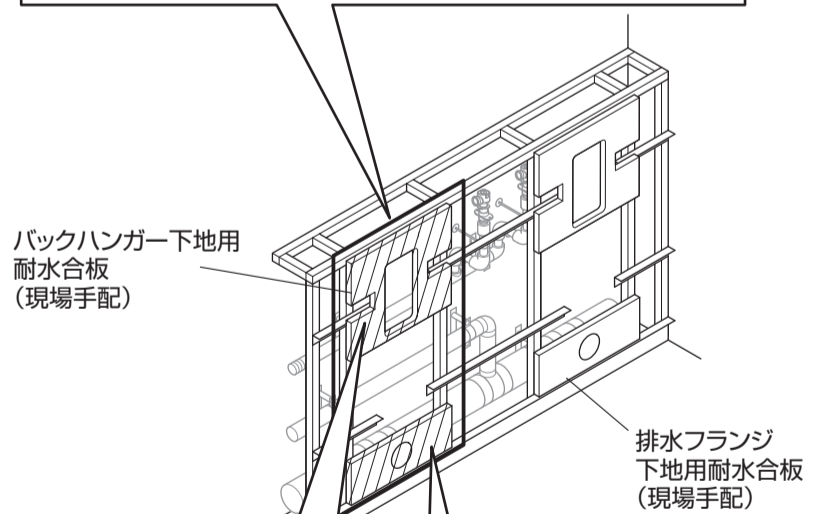
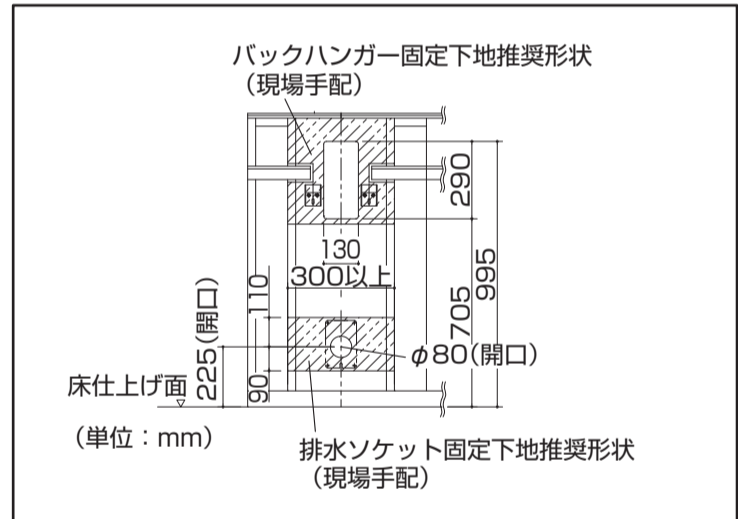
【現場手配】

- ライニングの壁仕上げ面を基準に位置決めする。
※図は引っ掛け式パネル仕様の例です。
※TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、
点検口付ライニングに同梱されている施工説明書を参照ください。



5 バックハンガー・排水フランジ下地材取り付け

- バックハンガーと排水フランジの固定箇所の下地用の耐水合板を取り付ける。
※TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、本工程は不要です。



取付方法

Point ・ 施工前に打ち合わせを実施し、工事区分の確認を行ってください。

黒文字 : 設備工事 黒文字 : 建築工事

6 コントローラーユニット・バルブユニット取り付け

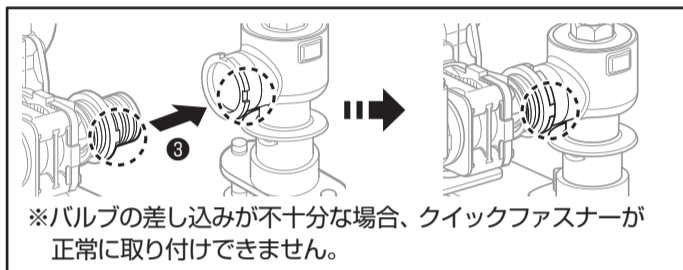
⚠ 注意

必ず実行 **!** **バルブのOリングにごみの付着や傷付きがないよう注意する**
Oリングにごみの付着や傷・はみ出しがあると水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

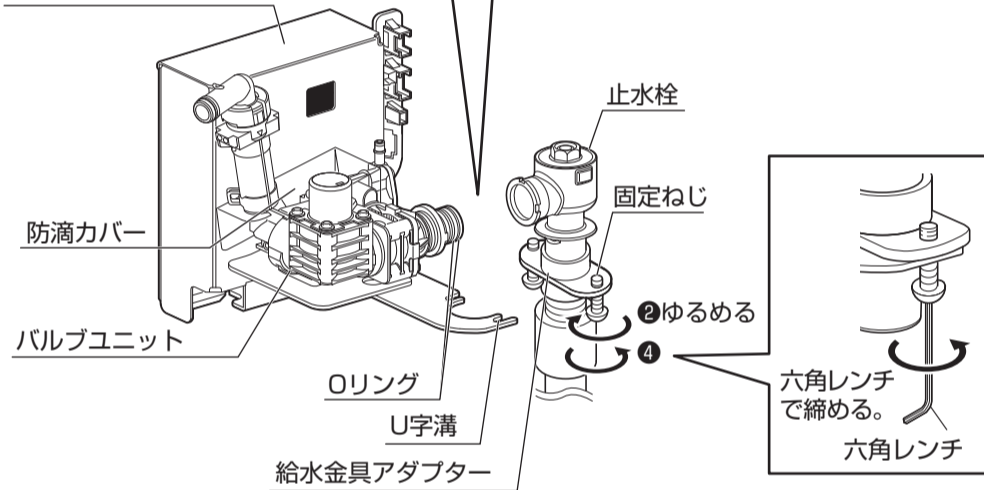
注意

- ・持ち上げる際は、バルブユニットを持たないでください。
- ・コントローラーユニットに強い衝撃をあたえないでください。
- ・バルブユニットの防滴カバーを外さないでください。
- ・結束バンドは切断しないでください。

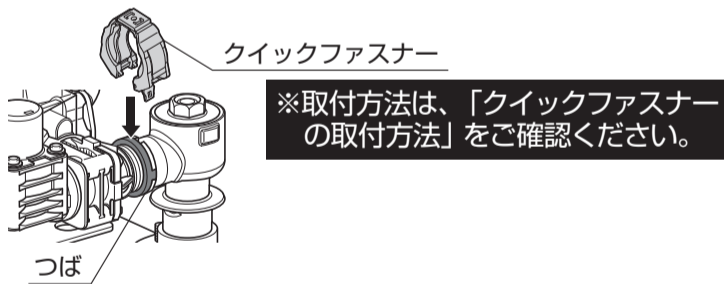
- 1 バルブのOリング養生紙を取り除く。
- 2 固定ねじをゆるめる。
- 3 コントローラーユニット・バルブユニットを止水栓に取り付ける。
※止水栓のつばの凹部にバルブのつばの突起をあわせて差し込んでください。
- 4 コントローラーユニットのU字溝が差し込まれていることを確認し、六角レンチで締める。



コントローラーユニット



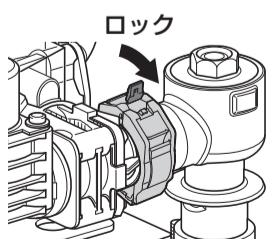
- 5 クイックファスナーを差し込む。
※クイックファスナーは止水栓の箱の中に入っています。
※バルブの差し込みが不十分な場合、クイックファスナーが正常に取り付けできません。



- 6 クイックファスナーの凹部につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認する。



- 7 クイックファスナーカバーを確実にロックして固定する。



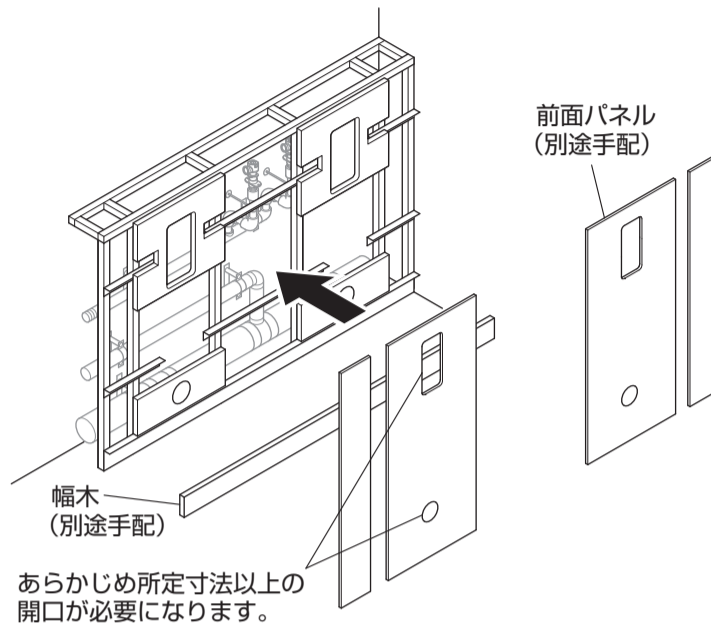
⚠ 注意

必ず実行 **!** **クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は接続作業をやり直す**
クイックファスナーの接続が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

7 幅木・前面パネル取り付け

幅木取り付け・前面パネル取り付け【現場手配】

- 幅木と前面パネルを取り付ける。
※TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、点検口付ライニングに同梱されている施工説明書を参照ください。



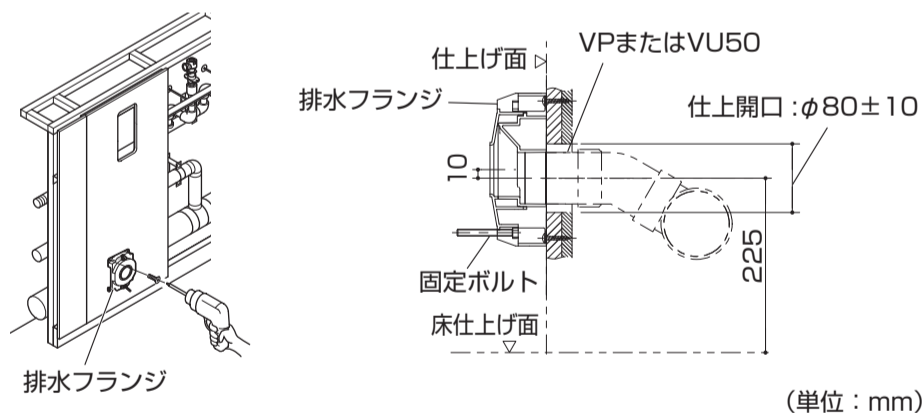
8 排水フランジ取り付け

⚠ 注意

必ず実行 **!** **接着剤は必ず、排水フランジと排水管の両方に塗布する**
接着剤塗布面は、排水フランジ内周、排水管内周となります。片側のみ塗布や塗布箇所を間違えますと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

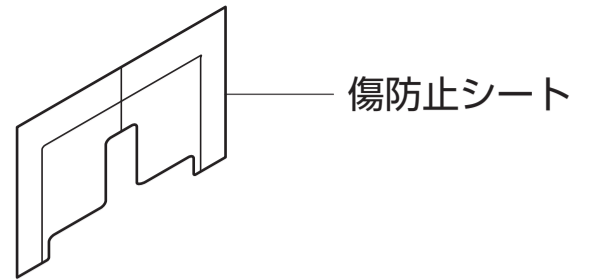
※排水フランジ取付方法は、排水フランジに同梱されている施工説明書をご確認ください。

- 排水フランジ標準取り付け高さは、排水心で床仕上げ面+225mmです。
- ① 排水フランジ外周と排水管内面に塩ビ用接着剤を塗布して挿入する。
- ② 接着後、排水フランジ本体を付属のビスで固定する。



傷防止シートは小便器を取り付ける際に必ず使用してください。

※壁への傷付きを防止するためです。

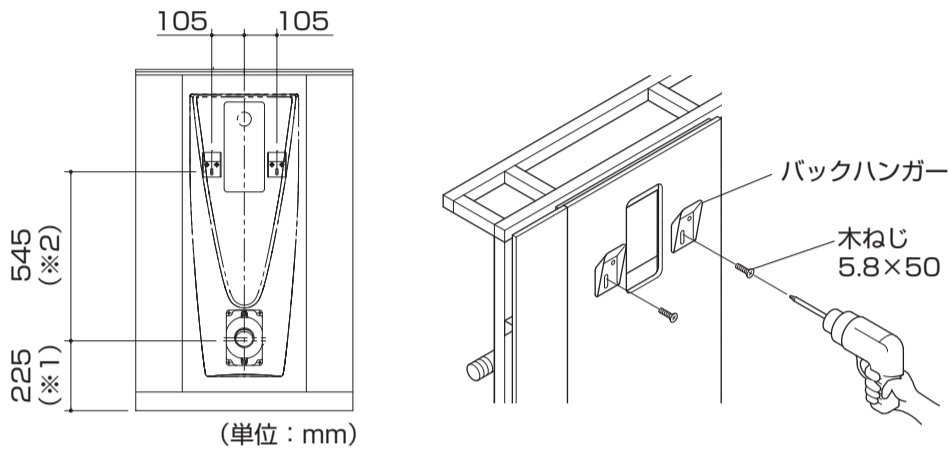


9 バックハンガー取り付け

注意

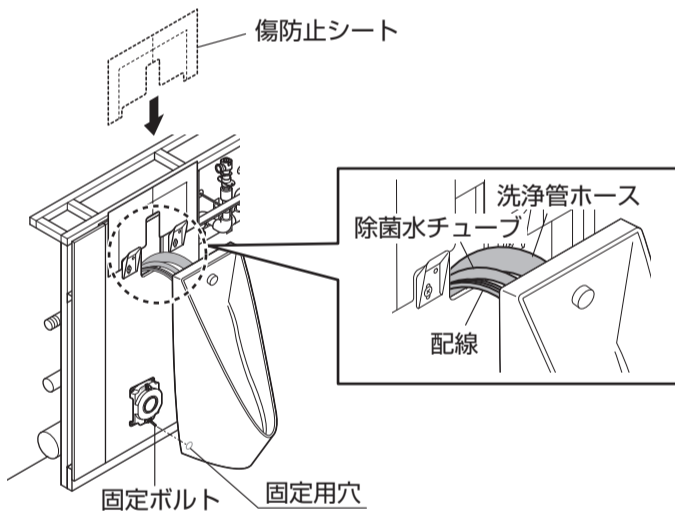
必ず2人以上で施工を行う
腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

①バックハンガーの3カ所のねじ穴のうち、下側の長穴を仕上げ材表面から下図の位置に木ねじで固定する。

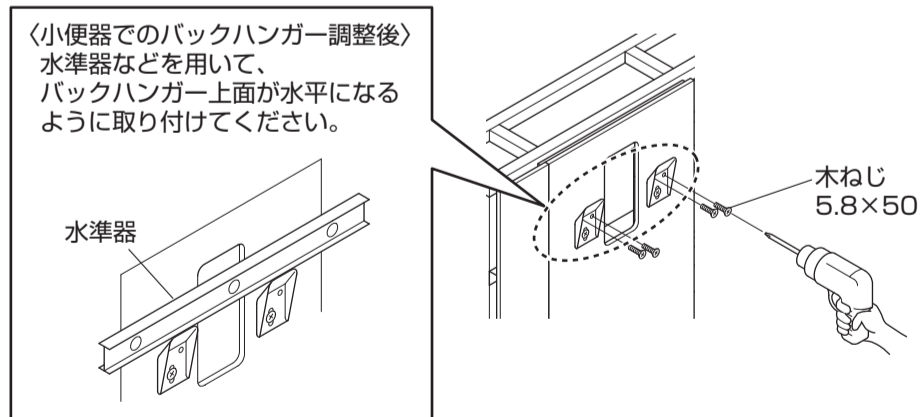


※1 仕上げ開口
※2 バックハンガー長穴中心

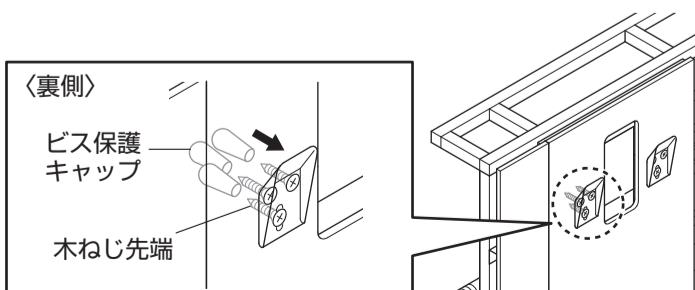
②傷防止シートをバックハンガーに引っ掛けるように取り付けて、小便器を引っ掛けて排水フランジの固定ボルトが小便器の固定用穴とあっているか確認する。
※洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を開口部より、止水栓方向に通す。
※固定ボルトと小便器の固定用穴の位置があっていない場合、いったん小便器を外して木ねじをゆるめ、バックハンガーの位置を調整してください。
※小便器の取付部品に不必要に触れたり、力を加えないでください。
※小便器は寝かせて置かないでください。



③左右の水平レベルを確認して、取付位置が決まったら、上側2カ所のねじ穴を固定する。



④耐水合板を貫通した木ねじは、ねじ先端にビス保護キャップを取り付ける。
※けがの原因になります。

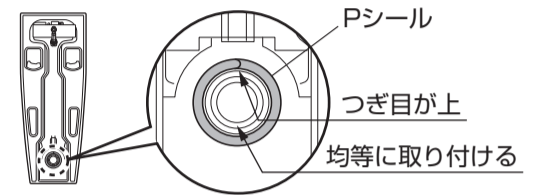


10 小便器取り付け

注意

・ホース・チューブ・配線を傷つけない。
・ホース・チューブ・配線を無理にひっぱらない。
・防滴カバーや部品を外さない。

①小便器排水口周辺のごみや水分を取り除く。
②Pシールをつぎ目を上にして小便器排水口にに取り付ける。
※水漏れのおそれがあるため、排水口に対して均等に取り付ける。

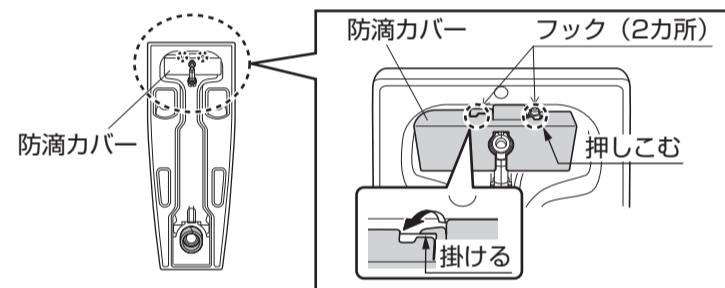


③傷防止シートをバックハンガーに引っ掛けるように設置する。
④洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を開口部より、止水栓方向に通す。



〈防水カバーが外れた場合〉

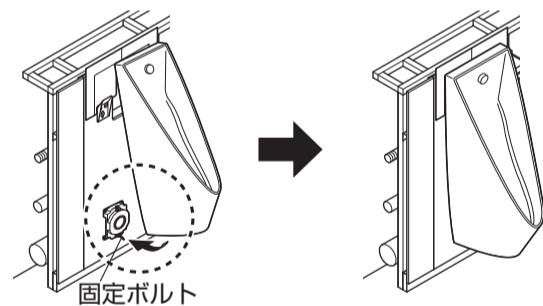
・防水カバーのフック (2カ所) を下図のように取り付ける。



⑤前面パネルに添ってゆっくり下におろし、バックハンガーに小便器が掛かったことを確認する。固定ボルトを固定用穴の中心に合わせ、小便器下部を前方に押し込む。

注意

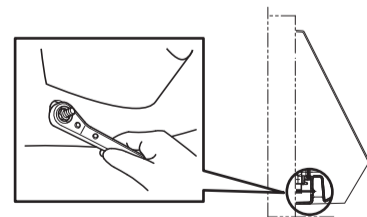
・センサーと給水エルボを仕上材の開口部にぶつけないようにする。



⑥傷防止シートを引き抜く。



⑦排水フランジ同梱部品のワッシャーとナットで小便器を固定する。



注意

ナットを強く締め過ぎて小便器本体・排水フランジを割らないようにする。

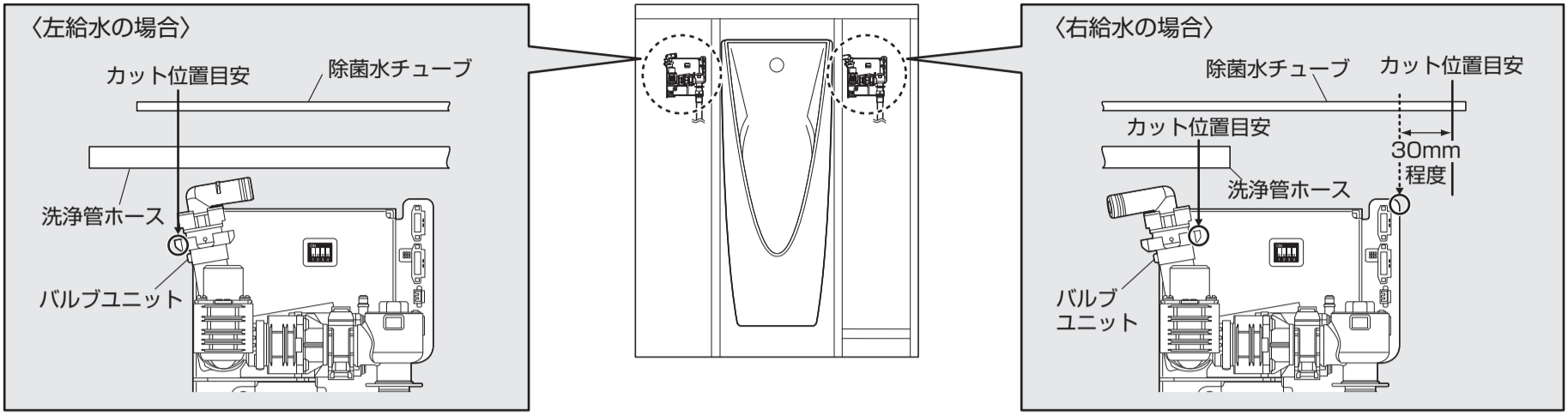
※床仕上げ面の上に汚垂石を取り付けした際は、ナットが締め付けづらくなる場合があります。

※ナットの対辺は13mmです。
ナット締め付けには全長150mm以下の板ラチェットレンチを推奨します。

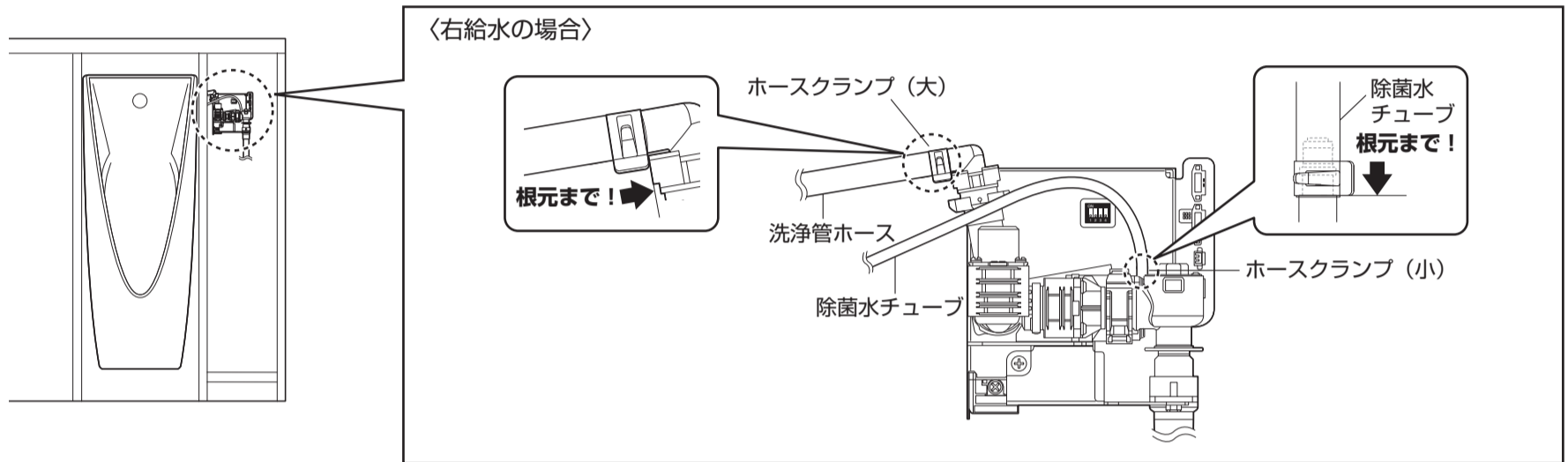


11 洗浄管ホース・除菌水チューブ接続

① 洗浄管ホース・除菌水チューブをバルブユニットにもってきて、下図のようにカットする。



- ② 洗浄管ホースをバルブユニットに根本まで差し込み、ホースクランプ（大）で固定する。
- ③ 除菌水チューブをバルブユニットに根本まで差し込み、ホースクランプ（小）で固定する。



※取り付け後、洗浄管ホース・除菌水チューブが折れ曲がっていないことを確認してください。

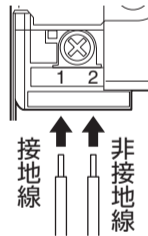
12 コントローラーコネクター接続

警告

通電していないことを確認のうえ、接続を行う
感電の原因になります。

電源端子台と1次電源との接続は必ず有資格者が行う
故障、感電の原因になります。

電源線(VVF)を端子台に差し込む際は、接地側電線を1番、
非接地側電線を2番に差し込む
必ず実行 火災のおそれがあります。

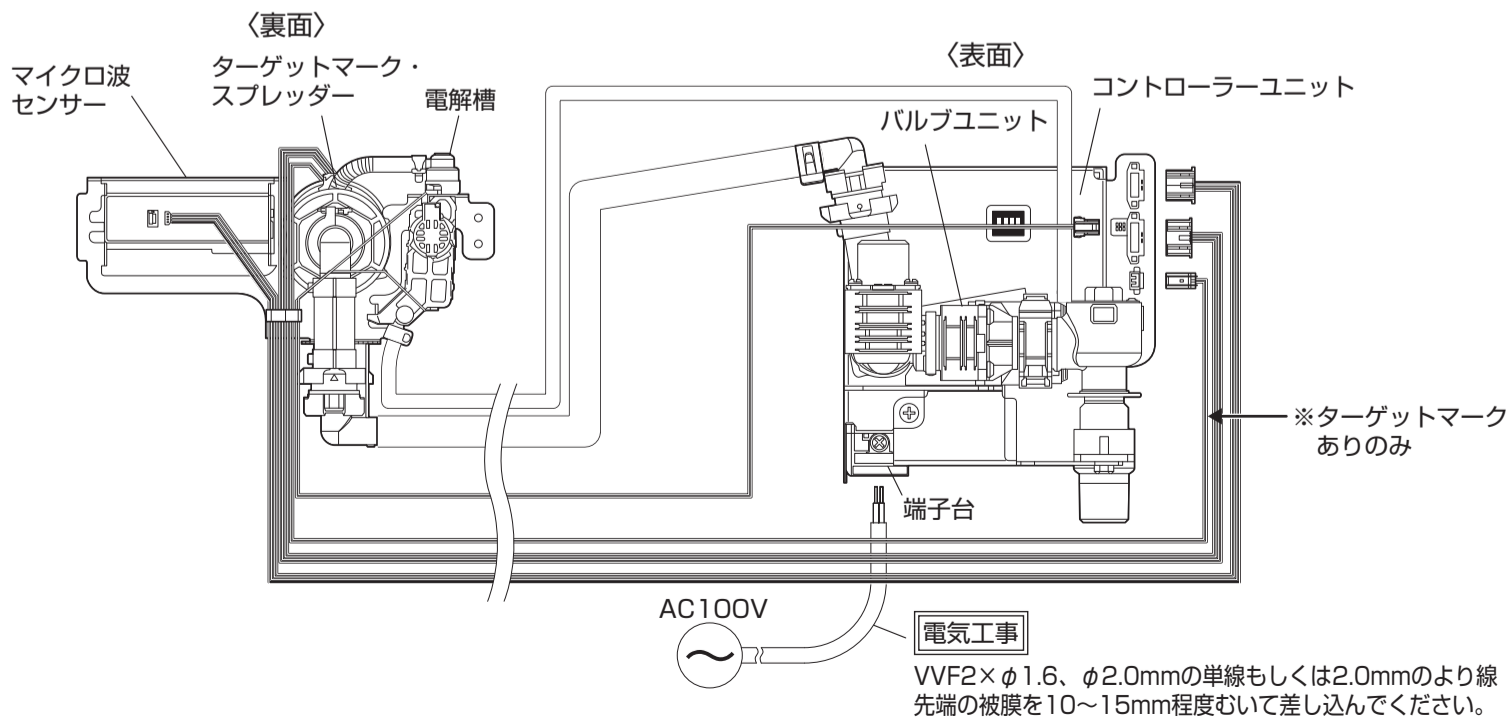


●下図を参照のうえ、配線を実際に接続する。(4カ所)

- ・ターゲットマーク - コントローラー間 (コネクター接続)
- ・センサーユニット - コントローラー間 (コネクター接続)
- ・電解槽 - コントローラー間 (コネクター接続)
- ・リードスイッチユニット - コントローラー間 (コネクター接続)

注意

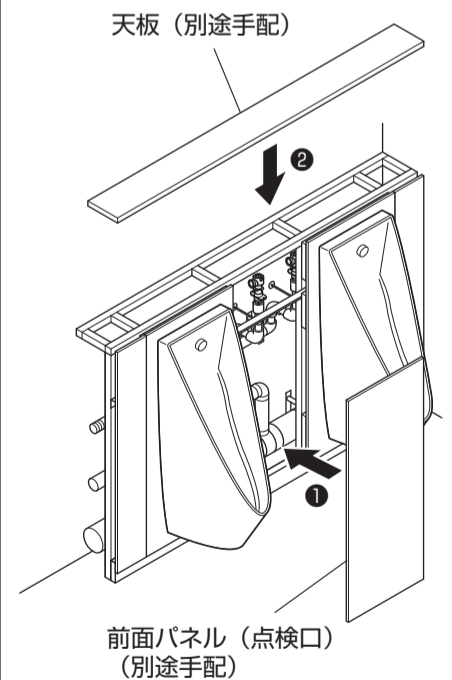
・電源配線は1m以上の余裕をみて配線する。
コントローラーを取り外して作業をするときに、電源配線が張らないようにするためです。



13 前面パネル（点検口）・天板取り付け

【現場手配】

- ① 前面パネル（点検口）を取り付ける。
- ② ライニングフレーム上部に天板を載せ、壁とのすき間調整を行って固定する。
※TOTO製の点検口付ライニングをご採用の場合は、点検口付ライニングに同梱されている施工説明書を参照ください。



※ターゲットマークありのみ

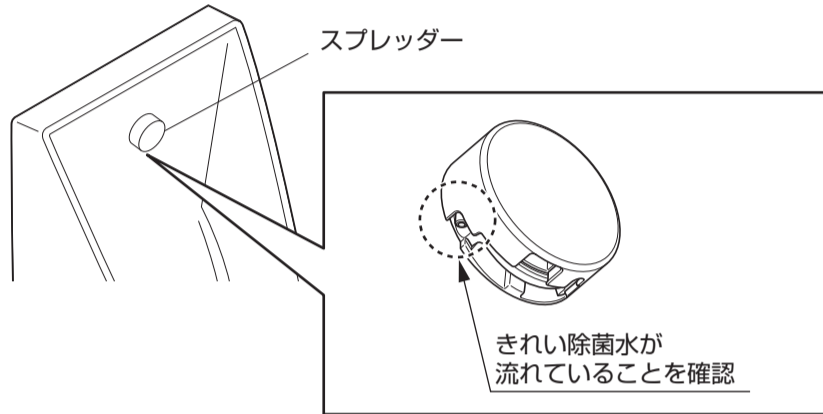
試運転（必ず実施してください。）

- 試運転は、下記洗浄動作確認方法に準じて行ってください。
- 試運転後は必ず止水栓のフィルター掃除を行ってください。
- 各器具のぐらつきや接合部の水漏れがないか点検してください。
- 洗浄動作確認の際、施工時に発生した配管内のくずや異物が止水栓のフィルターに詰まり、水の出が悪くなる場合があります。
- 試運転後、止水栓やバルブ部および陶器下部に水漏れがないことを確認してください。

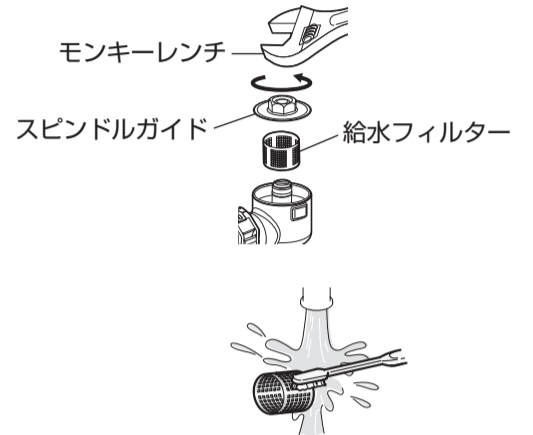
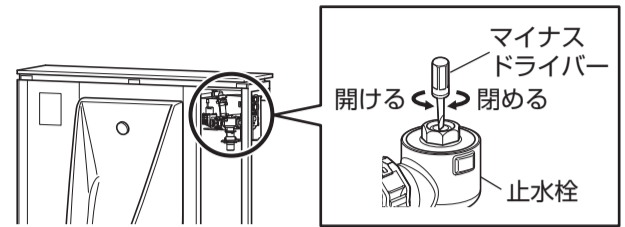
洗浄動作確認方法

※洗浄確認時に、ポウル部先端まで洗浄水が届いていない場合は、止水栓を全閉にした後、少しずつ開いて調整をしてください。

- 本小便器セットでは、マイクロ波センサーによって人体の動きで便器洗浄を行います。設置後、便器洗浄することを確認してください。
- 動作確認は、必ず通水状態で行ってください。
- 通電直後に自動で便器洗浄を行います。
※通電直後の自動洗浄は、通電状態のまま24時間経過すると作動しくなくなります。
※通電直後、きれい除菌水が流れていることを確認してください。
流れない場合は、除菌水チューブが接続されているか、キンクしていないか確認してください。
- 通水後は、洗浄管ホース・除菌水チューブを外したり、引っ張らないでください。

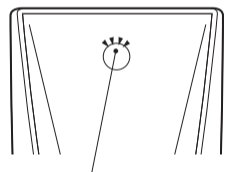


止水栓のフィルター掃除方法

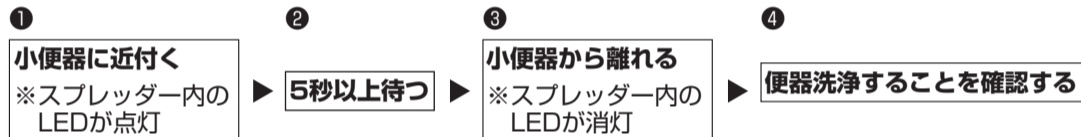


- 通電直後の自動洗浄後、下記の確認を行ってください。

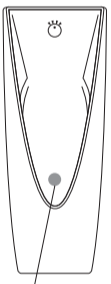
〈ターゲットマークなしの場合〉



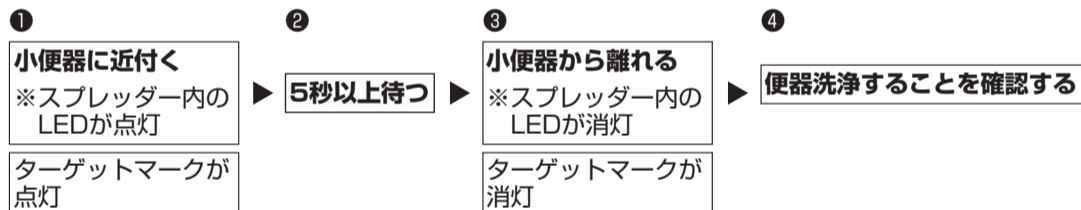
スプレッター内LED



〈ターゲットマークありの場合〉



ターゲットマーク



注意

- ・ スプレッター内のLEDが正常に作動しないまたは点滅を繰り返している場合は、配線の接続を確認してください。

- ・ 陶器表面に傷がないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・ 本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。